



もり ひろ み せん せい しゅつ ちよう じゆ ぎよう
森浩美先生の出張授業

「自分で考えること」の大切さ

6月9日、東京の台東区立忍岡小で、作詞家の森浩美先生による出張授業があったよ。プロの「つくる人」はどうやってアイデアをふくらませていくんだろう。

授業のテーマは「自分で考えること」。「目で見、耳で聞く、肌で感じるなど、五感をいっぱい使うことが、自分で考えるための第一歩」と森先生。そして「どうしてなんだろう」と思ったら、すぐに調べることが大切なんだ。先生のおうちでは、ご飯を食べるテーブルにも国語辞典と地球儀があるんだって。授業では、言葉の連想ゲームもしたよ。ノート我真中に「赤」と書いて、その



まわりに、「夕日」とか「すいか」とか、「赤」から連想した言葉を書いていくんだ。そして、「すいかのような赤」のように、最後に一つの文を完成させる。これを1日1回、3分ずつやると、作文も上手になるんだって。忍岡小は今年、創立140周年。みんなで記念の校歌をつくるそうだよ。この日の授業は役に立ちそうだね。森先生は「プロのつくり手は、著作権がないと作品がつかれなくなるんだ」と言っていた。著作権の大切さについて、考えてみてほしいな。



作詞家 森浩美先生
スマップ「あいイナズマ」、キンキキッズ「愛されるより愛したい」など約700曲をつくっているよ。

音楽で自由研究

出張授業の様子や「音楽」をテーマにした工作を、JASRACのホームページで紹介しているよ。みんなも夏休みに体験してみよう。

JASRAC

ジャスラック 学べる

検索

www.jasrac.or.jp/jasracpark/

身近で大切なルール

著作権

知ってるかな?

ジャスラだよ
よろしくね!

著作権は音楽や本、ゲームなどを楽しむための大切なルール。ジャスラといっしょに著作権について学んでみよう!

友達のを借りるときには「使ってもいい?」と聞くよね。が、んばって書いた作文や絵をマネされたり、勝手に使われたりしたらイヤな気分になるよね。同じように、音楽やイラストなど、ほかの人がつくった作品を使うときには、つくった人から許可をもらうのがルールなんだ。このルールを著作権というよ。自分の作品を大事にしてみよう。うー!という気持ちになるよね。



演奏したり、録音したり、ホームページにのせたりして音楽を使うとき、つくった人全員から許可をもらうのは大変だね。そこで、音楽を使うときの窓口として、JASRAC(日本音楽著作権協会)があるんだ。JASRACでは、作曲家や作曲家など音楽をつくった人から頼まれて、音楽を使う許可を出し、そのときに受けたお金(使用料)をつくった人に届ける仕事をしているよ。

大切なルール

ジャスラックって?

自己紹介

たんじょうび
誕生日
とく
特技
なや
悩
み

11月18日

右投・左打。オカリナ。テルミン。DJ。

音符の帽子をかぶっているのに、時々「おたまじゃくし」と間違えられる。著作権をかむ(ちょしゃ、ちょちゃっけん)。

